


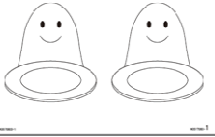
# 1歳児クラス 8月 第3回 「おばけだぞー！」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>• いたずらが大好きなお茶目な「パコーム」に興味をもたせながら読み進める。</li> <li>• ストーリー仕立ての内容に興味をもち最後まで集中してお話を聞く。声に抑揚をつけたり、文章にリズムをつけて演出する。</li> </ul>	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保:「じゃーん！」とパコームのペープサートを動かしながら登場。</li> <li>• 講:「あなたはだあれ？」</li> <li>• 保:「ほくパコーム！おばけなんだ。ほくのお城に遊びに来ない？」などと会話を広げ、子どもたちの身近にはいない「おばけ」に興味をもたせてから始める。</li> </ul>	★絵本 ★iPad(シアターセット) ペープサート (パコーム)	
導入		保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>• パコームのペープサートを持って登場。講師との会話で「おばけ」に興味を持たせる</li> </ul>

## かくしゅうタイム

活動①	数	(一対一対応)一人に一つのシールを貼ることができる	
設問	パコームと友だちにシールをわけっこして貼りましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 講:「おばけの国。何だか楽しそうだねお城に先生も遊びに行きたいなー」</li> <li>• 保:「パコームからお手紙が届いてますよ」とプリントが入った封筒を持って登場。</li> </ul>		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 講:(プリントを出しながら)『お腹を空かせている友達を助けてください』だって」</li> <li>• 保:子どもたちにもプリント配布。</li> <li>• 講:「おともだち何人いるかな?数えてみよう」子どもたちと一緒に指さし数え「2人」を確認。</li> <li>• 講:「何か美味しいものないかな?」とポケットなど探索。</li> <li>• 保:「これならありますよ」とシールを指に付けて提示。</li> <li>• 講:匂いや味見する感覚行動後、おばけと同じ数のシール「2こ」を数えて取り「一人にひとつ、一人にひとつ、仲良くわけっこ」と1対1対応で貼る見本行動。</li> <li>• 講:「みんなの「お友だち」もお腹空いてるって言うてるよ。いくつ欲しい?」と数を確認。</li> <li>• 保:子どもたちからの「2こください」のこぼれを受け配布する。(シールは指先に付けて取らせても良い)</li> <li>• 子:シールを受け取り貼っていく。</li> <li>• 講:子どもたちと仲良く分けられたことを確認。賞賛。プリントを回収して終了。 ※賞賛方法として花丸やスワップを押すなどしても良い。</li> </ul>		P 1 P 1用シール一人2枚  保育士の役割  <ul style="list-style-type: none"> <li>• プリントの入った封筒を届ける</li> <li>• プリント配布</li> <li>• シール提示</li> <li>• シール配布</li> <li>• 賞賛</li> <li>• プリント回収</li> </ul>
活動②	表現	人形づくりに興味を持ち完成した人形を使ってごっこ遊びを楽しむことができる	
設問	パコーム人形を作って遊びましょう。		なし
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 講:「パコームのお友だちありがどうって喜んでたね。良かったね」</li> <li>• 保:「じゃーん！」提示用のパコーム人形を持って登場。「(裏返して)おばけだぞー！」と驚かすように人形を揺らす。</li> </ul>		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 講:「誰かと思ったら…かわいいパコーム。どうしたの?」</li> <li>• 保:「自分で作ったの!」「みんなもパコーム作って一緒におばけごっこしない?」</li> <li>• 講:「いいねー!でもどうやって作るの?」</li> <li>• 保:「おばけのもとがあるから大丈夫」と皿に入った材料提示。</li> <li>• 講:「(おばけのもと)ください。」※子どもたちの見本となるようにはっきりと伝える。</li> <li>• 保:「はいどうぞ」と材料を渡す。</li> <li>• 講:「ありがどう」と受け取り、中身を見せながら確認。特にパコーム人形の裏表の表情の違いに注目し確認していく。「先生作ってみるね」と製作開始。 見本提示①皿からパコーム人形を出して表情が解るように机の上(できれば見や</li> </ul>		パコーム人形(裏表各1枚。表にのみ両面テープ付) モール一人1本(半分に折って使用) ※予め提示用に1体完成させて準備。 ※配布用教材は一人ずつ皿に入れてセットしておく ※材料予備1セット分あり

<p>すい様にボードなどに貼って提示)に並べる。          ②笑顔の方を裏返し両面テープを剥がす(ゴミは皿の中)          ③曲げられたモールの端が2本並んだ方をテープの上に乗せる          ④モールを挟み込む様にもう一枚のパコーム人形の顔を上に向け重ねて貼る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講「できました！」とモールを持ってゆらゆらさせ完成を喜ぶ。</li> <li>・講：「みんなも作りたいね！」「作りたい人！はーい！」意欲を引き出し「ください」と言って材料を受け取ることを伝える。また受け取ったあとの「ありがとう」のことばも確認する。(「ください」と言葉でうまくいえなくても意思表示が出来れば良いことを保育士に伝える。)</li> <li>・子：講師・保育士に欲しい気持ちを伝え、材料を受け取り制作をはじめる。</li> <li>・子どもたちの制作に関してはできる限り自分でさせるが、見守りながら必要に応じて補助する。特にモールの貼る位置には注意する。</li> <li>・完成した人形を持って、人形同士会話やごっこ遊びを楽しむ。「かけっこ・かくれんぼ・ジャンプ」などいろいろな動きを入れながら楽しむ。</li> <li>・最後「何だか眠くなってきたみたい」「おやすみなさい」とトレイの上や箱の中に人形を集めて終了する。</li> </ul> <p>※途中エレビなどでBGMを入れられると盛り上がる。また保育室内を動けるクラスは机の上を離れ散歩などできると楽しい。その場合はくれぐれも環境に危険の無いように配慮。全体に目を配り行動する。</p>	<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パコーム人形提示</li> <li>・材料提示</li> <li>・材料配布</li> <li>・製作補助</li> <li>・子どもたちとごっこ遊びを楽しむ</li> <li>・エレビ演奏</li> <li>・人形回収</li> </ul>
--	---

<p>数子ヤレ <small>わらわ</small></p>		<p>教材</p>
<p>設問</p>		
<p>活動内容</p>	<p>※今回は&lt;活動①&gt;を数のチャレンジとします。</p>	<p>保育士の役割</p>